

ムーディーズによるインドの格上げについて

ポイント① 「Baa2」へ一段階の引き上げ

11月16日（ニューヨーク現地時間）、格付会社ムーディーズ・インベスターズ・サービスは、インド政府の自国通貨建ておよび外貨建て発行体格付を「Baa3」（「BBB-」に相当）から「Baa2」（「BBB」に相当）へ一段階引き上げました。同時に、見通しは従来の「ポジティブ」から「安定的」に変更しました。

ムーディーズは2015年4月、2014年5月に発足したモディ政権の政策運営を評価、同国の格付を据え置く一方、見通しを従来の「安定的」から「ポジティブ」に引き上げていました。

ポイント② 経済改革進展への期待を反映

今回の格上げについてムーディーズは、継続的な経済改革の進展が、インドの潜在成長力を高め、中期的には一般政府債務負担の段階的な低減に寄与するとの見通しを指摘しています。

経済改革については、具体的にGST（物品・サービス税）、金融政策の枠組みの改善、不良債権問題への取り組みや高額紙幣廃止などに言及し、これまでに実施された改革が、政府が目標とするビジネス環境の改善や生産性の向上、海外からの投資および国内投資を促進し、最終的には強く、持続力のある経済成長に寄与するだろうとしています。

ポイント③ ルピー・株価・債券価格は小幅上昇

今回の格上げを受け、11月17日の外国為替市場（ニューヨーク時間17時頃）では、インドルピーは対米ドルで前日比0.4%程度のルピー高（対円では同0.4%程度のルピー安）となりました。

また、インド株式（S&P/BSE SENSEXインド指数）は前日比0.7%上昇、インド10年国債利回り（現地通貨建て）は0.01%低下（価格は上昇）しました。

重要
イベント

11月30日	GDP（国内総生産、7-9月期）
12月6日	金融政策発表
12月12日	消費者物価指数（11月）

図1：インドの自国通貨建て・外貨建て発行体格付（長期債務格付）

（2017年11月16日時点）

格付会社	11月16日発表	11月16日発表以前
ムーディーズ	Baa2 (見通しは「安定的」)	Baa3

(参考) S&P	(参考) フィッチ
BBB- (見通しは「安定的」)	BBB- (見通しは「安定的」)

図2：為替レートの推移

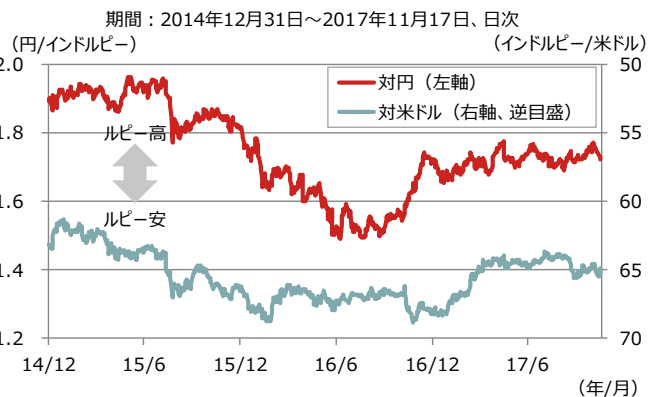
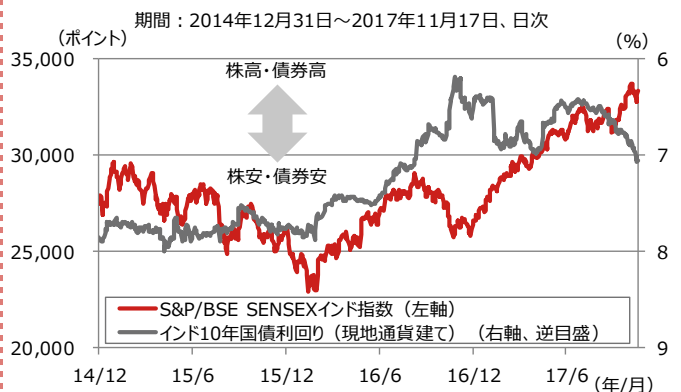


図3：株式・10年国債利回りの推移



(注) Bloombergジェネリック10年国債利回りを使用

(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。